

令和8年度 アオコ情報（河川 No. 6）

7月7日に実施した調査の結果についてお知らせします。

- フィコシアニン濃度※¹の最大値は、新川でアオコレベル2相当※²、備前川でアオコレベル2相当、土浦沖合でアオコレベル1相当でした。

新川、備前川及び土浦沖合のアオコレベル

<新川>

- ・ 神天橋でアオコレベル2相当（フィコシアニン濃度：481 µg/L）、新港橋及び新川河口沖でアオコレベル0相当（フィコシアニン濃度：< 5～15 µg/L）でした。

<備前川>

- ・ 岩田橋及び備前川河口沖でアオコレベル2相当（フィコシアニン濃度：169～183 µg/L）、竹中橋でアオコレベル1相当（フィコシアニン濃度：138 µg/L）でした。

<土浦沖合>

- ・ 土浦沖合①でアオコレベル1相当（フィコシアニン濃度：115 µg/L）、土浦沖合②でアオコレベル0相当（フィコシアニン濃度：36 µg/L）でした。

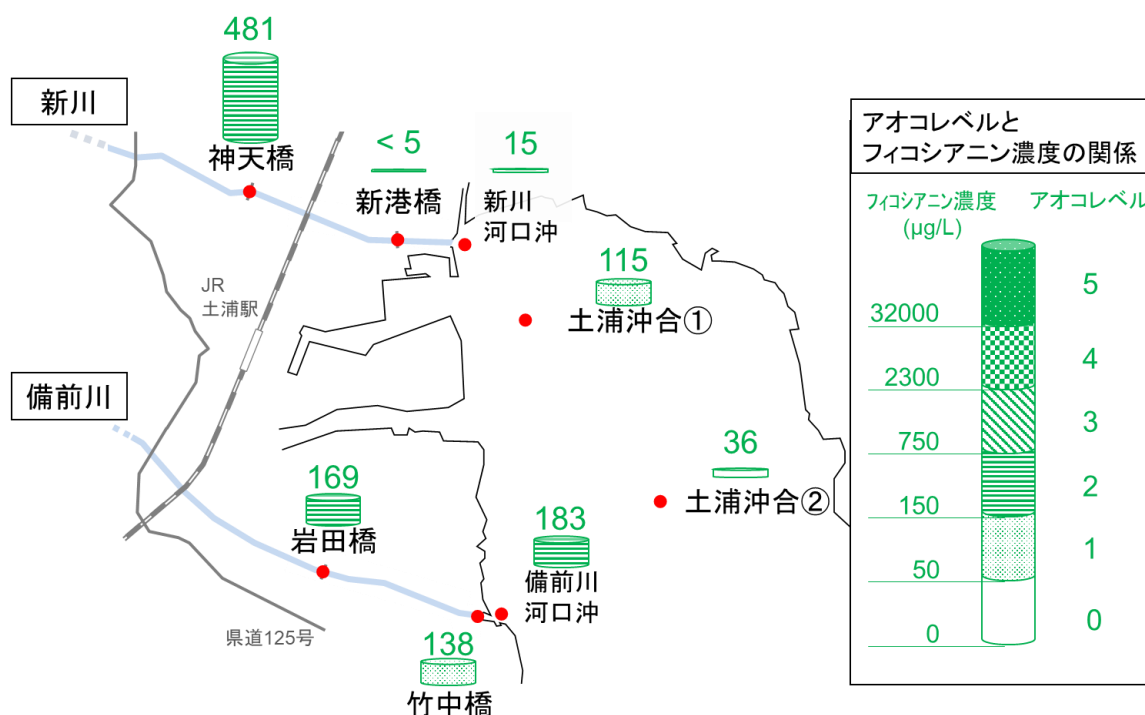


図1 フィコシアニン濃度の分布

※1 フィコシアニン

アオコの原因となる植物プランクトン（藍藻類）に含まれている色素です。フィコシアニン濃度はアオコの現存量と一定の相関があるため、アオコ現存量の目安になると考えられています。

※2 アオコレベル

アオコの発生状況を視覚的に把握するための指標です（参考：国土交通省霞ヶ浦河川事務所 HP：<http://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/kasumi00313.html>）。フィコシアニン濃度は、アオコレベル1で50 µg/L程度、アオコレベル2で150 µg/L程度、アオコレベル3で750 µg/L程度、アオコレベル4で2300 µg/L程度、アオコレベル5で32000 µg/L程度です（小日向ら、2012）。各レベルの写真は、別紙に掲載しています。

● 調査結果の詳細

表 調査結果

	新 川			備前川			土浦沖合	
	神天橋	新港橋	河口沖	岩田橋	竹中橋	河口沖	①	②
採水時刻	7月7日	7月7日	7月7日	7月7日	7月7日	7月7日	7月7日	7月7日
	10:18	10:04	9:38	10:42	11:18	9:15	9:31	9:24
水温 (°C)	24.0	24.5	24.5	24.7	24.8	24.2	24.3	24.5
pH	7.7	7.7	7.0	7.8	8.2	6.5	7.2	6.8
EC (mS/m)	27.3	42.0	29.3	25.2	30.1	25.9	26.8	27.2
透視度 (cm)	18	> 50	24	12	14	20	23	21
フィコシアニン (μg/L)	481	< 5	15	169	138	183	115	36
クロロフィル a (μg/L)	274	19	42	107	68	72	50	53

● (参考) アオコレベル (https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000042117.pdf)

